

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名 又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	綾部市農村婦人の家改修事業	綾部市	14,623,200	14,623,200	14,623,200

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	綾部市農村婦人の家改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		綾部市		
交付金事業実施場所	綾部市岡安町			
交付金事業の概要	綾部市農村婦人の家改修工事（屋根、外壁、軒天の改修工事）			
総事業費	14,623,200	交付金充当額	14,623,200	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	14,623,200	
交付金事業の成果及び評価	今回の改修工事により、当該施設の設置目的である農村女性、高齢者等の共同学習や集会等の場として、より快適な使用環境を提供することが可能となった。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	屋根葺替、樋、外壁改修工事	条件付一般競争入札	株式会社 平成監理	14,623,200
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
現時点では予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名 又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化事業 (事業運営基金造成事業)	事業運営基金造成事業	綾部市	36,589,880	36,589,880	36,589,880
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置 (施設維持補修基金造成事業)	施設維持補修基金造成事業	綾部市	150,000,000	150,000,000	150,000,000

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	地域活性化事業 (事業運営基金造成事業)	事業運営基金造成事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		綾部市		
交付金事業実施場所	綾部市			
交付金事業の概要	ごみ収集業務委託事業に充当するための基金造成			
総事業費	36,589,880	交付金充当額	36,589,880	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	36,589,880	
交付金事業の成果及び評価	適正な環境政策を継続的に展開するため、当該基金の造成により、次年度以降のごみ収集業務委託事業の円滑な実施に要する財源の確保を図ることができた。なお、基金処分事業完了後に速やかに再評価を行う。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	基金造成	積立	—	36,589,880
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
生活利便性向上とごみの資源化や減量化を促進するため、今後も基金造成を行う。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			当該基金造成に係る処分対象事業は、平成28年度から平成31年度に実施予定であり、事業完了後に速やかに再評価を行う。	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置（施設維持補修基金造成事業）	施設維持補修基金造成事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		綾部市		
交付金事業実施場所	綾部市			
交付金事業の概要	クリーンセンター、衛生公苑及び斎場の施設維持補修に充当するための基金造成			
総事業費	150,000,000	交付金充当額	150,000,000	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	150,000,000	
交付金事業の成果及び評価	適正な環境政策を継続的に展開するため、当該基金の造成により、ごみ処理業務の基幹施設であるクリーンセンター及びし尿、浄化槽汚泥の処理施設である衛生公苑、火葬や葬祭の場である斎場において将来的に発生する維持補修に要する財源の確保を図ることができた。なお、基金処分事業完了後に速やかに再評価を行う。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	基金造成	積立	—	150,000,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
クリーンセンターは、施設稼働から約10年を経過し、設備の摩耗や腐食による劣化が著しく、また、衛生公苑及び斎場の主要設備も約20年を経過しており、施設の維持補修も長期的視点に立って実施する必要がある、今後も計画的に改修を行うため基金造成を行う。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			当該基金造成に係る処分対象事業は、平成28年度から平成31年度に実施予定であり、事業完了後に速やかに再評価を行う。	